

現職者対象・介護福祉研修

研修地: カリフォルニア州ロサンゼルス近郊

対象: 老人ホーム・特別養護老人ホーム、介護施設の経営管理者、介護福祉士、ケア・マネージャー、ソーシャルワーカー、看護師、理学・作業療法士、シニア関連ビジネスの管理者、生活相談員、介護支援専門員、福祉用具専門相談員、ヘルパー



✓ 研修内容 (ニーズに合わせてカスタマイズ可、裏面のサンプルスケジュール参照)

施設や在宅における医療と介護の協働から緩和及びホスピスケアまで、幅広く解説

各施設での視察及びスタッフとのディスカッションの理解を深める為、日本語で米国シニア介護業界の概要を日本との比較を交えながら解説。米国の福祉制度概要から、介護に関する文化の違い、業界の生の声など役立つ情報を短時間で効率的にカバーします。

❖ 認知症ケア、脳卒中後のリハビリケア、身体機能保持・転倒予防対策など、最新の研究成果に基づいたケアの実践例を紹介

常に最新リサーチ結果を介護現場で取り入れ、改善していくのが得意なアメリカ。各視察先にて、すぐに日本の現場で活用できるように具体例を詳しく紹介します。

❖ 高齢者ホーム・介護施設・療養型施設が一体化され、終末期ケアまで受けられる『継続ケアコミュニティ』など、日本にはない形態のシニアコミュニティを体験し、活気のあるコミュニティ環境を作り出すヒントを探れます。

✓ 「ここが違う！」ミレニアのアメリカ医療研修

① 職人技コーディネーター

長年の医療研修実績から培ったノウハウで、お客様の研修希望内容をしっかり把握し、講師や視察現場スタッフと何度も事前に打ち合わせ、万全に準備します。

② とにかくわかりやすい！通訳

日米の医療現場を熟知し、インタビュー能力の優れたプロだからこそできる通訳。米国人現場スタッフと自由に意思疎通ができるから、ストレスがありません。



✓ 過去の研修参加者のコメント

「視察先の施設で入居者がみんな元気そうで、すごく生き生きしていたのが一番印象的だった。日本のような施設ではなく、米国では入居者の自由と意思を尊重しているのが伝わってきて、施設らしい雰囲気がなかった。アクティビティを実際に見たり、いろいろなスタッフとのディスカッションから自分の施設でも取り入れられるヒントがたくさん見つかった。大変刺激になり、よい経験だった。」

(地域福祉推進財団会員 介護職員)

✓ サンプル・スケジュール

	午前	午後
1	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 米国医療・社会福祉制度の概要/日米比較 <ul style="list-style-type: none"> - 高齢者対象各種シニア施設 ◆ 米国在宅医療(ホームケア) <ul style="list-style-type: none"> - 米国ホームケアのサービスの流れ、受け入れから終了まで - サービス終了計画とゴール設定 - 訪問看護師、リハビリ、介護士、ソーシャルワーカーなどの各役割とチーム連携 <p>又は</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 米国ホスピス <ul style="list-style-type: none"> - ホスピスサービス概要と一般医療の違い - ホスピスチームアプローチ <p>- リビングウィル</p>	<p>現場視察①</p> <p>大手急性期病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟見学 (ICU、一般病棟、リハビリ病棟などから選択) ・ケースマネージャー又は退院コーディネーターとの面談 (早期退院に向けたケースマネジメントと退院コーディネーション、療養型施設や地域訪問看護・介護との連携、スムーズな施設や在宅への移行、病院の求める訪問看護・リハビリとは) <p>又は</p> <p>デイケアヘルスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営管理者との面談 <ul style="list-style-type: none"> - 組織概要、運営の実際、地域との連携、ソーシャルワーカーの役割 ・アクティビティコーディネーターとの面談 ・利用者のアクティビティ見学
2	<p>現場視察② 継続ケアコミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内ツアー (高齢者ホーム、介護施設、ナーシングホーム、リハビリジム、食堂、レクリエーション施設) ・管理チームとのディスカッション (選択トピック例) <ul style="list-style-type: none"> - 認知症ケア 米国の最新トレンド - 身体アセスメント方法とケア管理 - ADL機能保持の為のアクティビティ・施設の工夫 - スタッフ管理体制 - 「入居者中心のケア」への取り組み例 - 鬱や不安症状などの精神疾患予防 	<p>引き続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア食メニュー・実食体験 ・管理栄養士とのディスカッション (選択トピック例) <ul style="list-style-type: none"> - 高齢者施設における栄養管理 - メニューの作成、栄養状態改善の工夫 ・リハビリ部門管理者とのディスカッション (選択トピック例) <ul style="list-style-type: none"> - 転倒予防プログラムの紹介 - 筋力保持の為のエクササイズプログラム ・アクティビティの見学・入居者との面談
3	<p>現場視察③ 認知症専門介護施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内見学 (リサーチに基づいた施設設計工夫の紹介) <ul style="list-style-type: none"> - モデルルーム - アクティビティルーム、スイミングプール - ダイニングルーム - レクリエーションルーム ・アクティビティの見学 ・現場スタッフや施設管理者とのディスカッション <ul style="list-style-type: none"> - 認知症、アルツハイマー患者への特別プログラム - スタッフ教育の実際 - 現場スタッフの課題とその対処など 	<p>現場視察④ ホスピス専門施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内見学 (ナースステーション、ガーデン、チャペルなど) ・ホスピス看護師との面談 <ul style="list-style-type: none"> - サービスの流れとカウンセリングの実際 - 医師や病院との連携 - 患者・家族とのコミュニケーションとサポート - ビリーブメントプログラム ・ボランティア管理者との面談 <ul style="list-style-type: none"> - ボランティアの重要性とスクリーニング - ニーズのアセスメント - ボランティアへの教育トレーニング <p>◆ 研修のまとめ</p> <p>◆ アメリカ介護福祉研修 修了書の授与</p>

視察先の事情により、研修先・内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

作成：ミレニア・エデュケーション Copyright © Millennia Education 2018 本紙の無断複写・改造を禁止します。

>> お問い合わせ

ミレニア・エデュケーション
MILLENNIA EDUCATION
info@iryo-kenshu.com